

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年03月31日

計画の名称	地域拠点間を接続する自動運転サービス導入（和光版MaaS構想）推進における基盤整備計画												
計画の期間	令和04年度～令和06年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	和光市,埼玉県												
計画の目標	全市民の移動しやすさの向上を目標として、高齢者をはじめとする交通弱者の確保とともに、自動運転技術や高度通信技術を活用した駅、福祉施設、商業施設、産業施設などの複数の拠点間を安全かつ快適に移動できるコンパクトなまちづくりの推進を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	575	A	575	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R6末
1	自動運転サービスの導入による、市内の移動利便性や定時性、他の移動手段との接続性を向上させることにより、市内の地域公共交通（路線バス・市内循環バス）の利用者数を増加させる。 市内の地域公共交通（路線バス・市内循環バス）の年間の利用者数	3267千人/年	千人/年	5036千人/年
2	自動運転サービス等における専用車線を設け、渋滞を原因とする遅延を減少させ、当該区間における定時性を確保することにより、市内全体の移動利便性を向上させる。 当該区間（現状片道12分、往復24分の運行）における、1日のバス路線（整備後は自動運転車両での輸送）での遅延時間の合計	20分/日	分/日	5分/日
3	和光市駅と新倉PA周辺の地域振興拠点の拠点間を結ぶ専用レーン等を含む自動運転サービスにより、走行区間の定時性を確保し、駅の利用者および新倉PA周辺立地企業就業者を増加させる。 和光北インター周辺の新産業・物流業務ゾーンにおける就業者数	2000人/年	人/年	2939人/年
4	自動運転サービスで高速道路との結節点である新倉PAと和光市駅北口が接続されることで、鉄道と高速バスとの乗り継ぎによる新たな観光移動の集客効果が期待され、市外からの和光市駅利用者数が増加する。 市外からの和光市駅利用者数	6312人/日	人/日	6690人/日
5	和光市未来技術地域実装協議の取組みにより、周辺地域への社会経済活動の活性化に期待したビジネス参入を検討する民間企業が増加し、更なる取り組みの加速につながる。 和光市未来技術地域実装協議会に参画する民間企業数	1社	社	4社

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	○	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
地域公共交通計画（埼玉県和光市）	令和4年3月末	策定予定	「道路運送法」及び「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に規定する計画（重点要件における「まちづくりに関する計画」）	地域再生計画（埼玉県和光市）	令和3年3月30日	認定	内閣府地方創生推進交付金の申請における計画							

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	和光市	直接	和光市	市町村道	改築	自動運転環境整備 市道528号線他6路線	道路改良(二車線化)他自動運転環境整備 L=3.7km	和光市						505	-	-	
	A01-002	道路	一般	埼玉県	直接	埼玉県	都道府県道	改築	自動運転環境整備 (主)和光インター線・新倉	道路改良(車線増設)他自動運転環境整備 L=0.2m	和光市						70	-	-	
											小計							575		
											合計								575	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	154				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	154				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	79				
翌年度繰越額 (f)	75				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 地域拠点間を接続する自動運転サービス導入（和光版MaaS構想）推進における基盤整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画・関連計画との整合 1) 市の上位計画である総合振興計画と整合性を確保している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画・関連計画との整合 2) 市の地域公共交通計画をはじめとした関連計画と整合性を確保している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 将来のまちづくりイメージに資する計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画地域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 事業効果が明確になっている。	○
III. 計画の実現可能性 官民連携 1) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 官民連携 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 国や県などから助言を受ける体制を組織している	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間での合意形成推進を実施している。	○

(参考図面)

